

## 目標達成計画

作成日: 令和 4年 1月 15日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。  
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1		平均の介護度が上昇、介護が必要な場面が増えている。その為、外出やレクリエーションの機会が減少している。	感染状況に留意しながら、限られた方だけでも外出やレクリエーションの機会を確保する。	外出機会を確保する為にも、介護度の高い御利用者家族に対し、特別養護老人ホームへの転苑を提案、ご理解頂く。	ヶ月
2		浴槽へ浸かることが困難な御利用者の為に機械浴を導入したが、時間を要する為、入浴の頻度を等しく確保することが出来ていない。	入浴の頻度に囚われず、週2回を目安に安全にゆっくりと入浴して頂く。	職員の機械浴についての意見交換を必要に応じて行い、技術向上を図る。必要に応じて、入浴グループ等の業務見直しを行う。	ヶ月
3		入居・退居の条件として、浴槽を一人(もしくは職員が支えながら)で跨いで入れるかどうかという事を、見学に来られた家族に説明している。現在入居されている方で2名、御家族は他施設への転苑を検討されている。 あくまでも認知症対応型の共同生活を支援している為、重度化されている方は、当ホームへの入居をご遠慮して頂いており、ターミナルケアが必要な場合も、同法人周辺施設とも連携し、様々な選択肢を提案させて頂いている。			ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。